

# 教団新報

定 価 1部 140円(本体 133円+共 200円)  
予約購読料 1年分 千共 5,000円  
紙代のみ 3,500円  
振替 00140-9-145275  
本紙を購読ご希望の方は、前金を  
そえて、お近くのキリスト教書店  
へお申し込み下さい。  
教会の購読料は負担金に含みます。

発行所 日本基督教団  
169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18  
日本キリスト教会館内 電話 03(3202)0546  
FAX 03(3207)3918  
URL http://uccj.org  
発行人 長 崎 哲 夫  
編集主筆 渡 邊 義 彦  
印刷所 株式会社きかんし

2013 年度

## 教区総会報告

2

西中国

奥羽

兵庫

東海

中部

### 日本伝道、教区伝道を論点として



被爆した十字架のもと、教区三役による按手

## 教団総会議事運営について議論



第62回西中国教区総会  
が、5月13日、14日、広島  
流川教会にて開催された。  
開会時、出席議員は130  
名中105名だった。

柴田もゆる議長は総括報  
告で、昨年の政権交代によ  
る「経済優先、軍備強化、  
改憲推進勢力の台頭、オス  
プレイ配備、原発再稼働の  
動きに対し」「ヒロシマの出  
来事を覚えて歩んできた教  
区として平和実現を神から  
問われている。」「この時代  
状況の中で信仰と良心に従  
って、発言、行動する必要  
を痛感する」とした。

て神学的領域において取り  
組むべき。北村氏の裁判提  
訴は「教団状況を考えると  
法廷で争わざるを得ない面  
があるが、それ以上に教会  
の枠組みの中で解決」の必  
要を述べた。

「東日本被災地支援として  
ボランティア派遣、呂原宗  
男奥羽教区議長を宣教セミ  
ナーに招き被災地報告を受  
けたこと、特別会計設置の  
継続を述べた。

「2011年度、前年比2  
%減から始めた負担金減額  
を、12年度は前年比0.5%減、  
13年度も同率減額を行うと  
した。教区財政を含め「今  
後は教区機構改正との関連  
で考慮する」とした。

「第2回宣教セミナー」将  
来を見据えて「伝道」を考  
える集い「開催を報告し」教  
団においても声高に「伝道」  
が標榜される現在、人を教  
会へと呼び寄せる方法ほか  
りが論じられることが多  
い」とし、そのような発想  
を克服し「どのような時に  
も福音を喜びとし、福音を  
宣べ伝え、証しし続けるこ  
とが伝道」とした。

教団との関わりについて  
は、「東神大関係回復」「洗  
礼・聖餐秩序」が十分な議  
論を経ずに唐突に教団総会  
議案となり、また教区提案  
の多くが審議未了廃案とな  
ったことに対し「審議をお  
ろそかにしたり、提案を粗  
雑に扱うあり方は、会議制  
の根幹を揺るがす事態」と  
した。また、宣教基礎理論、  
宣教基本方針、教区活動連  
帯金の見直しには、教区、  
教会の実情に十分な考慮を  
求める、とした。

30分ほどの議長報告を受  
け、約1時間にわたり質疑  
を丁寧に行った。「社会問題  
だけでなく教区全体の伝道  
戦略をどう考えているか」  
「38教団総会の議場を軽ん  
じた議事運営をどう考える  
か」「教勢減退に比して負担  
金減額をなお考慮すべき」  
「死刑制度廃止を軽々に論  
ずべきではない」「被災地支  
援金は復興のために使われ  
るべき」「教区総会決議を教  
団総会に提案できなかった  
ことをどう考えているか」  
「聖餐についての話し合い  
の場を教区は設けるのか」  
等の質問、意見があった。

教区議長報告と並び、同  
常置委員選挙方法では、  
3名全数連記とする原案に  
対し、2名少数連記の動議  
が修正案として成立した  
が、96名中48名賛成で1票  
差にて少数否決。原案も賛  
成47名で否決され議案が消  
滅した。選挙を行うため再  
び原案通りの議案を起こ  
し、これを賛成多数にて可  
決して選挙を行った。

宮島口伝道所廃止、下松  
愛隣教会解散が承認され、  
68教会・伝道所となった。  
12年度教区一般会計決算  
が承認され、2905万円  
の13年度予算を可決した。  
2名の准允、1名の按手  
が執行され、補教師、正教  
師として教会に仕える教師  
が立てられた。

会場の広島流川教会は、  
今年3月に献堂されたほか  
りである。西中国教区総会  
が教会を会場とするのは30  
年以上なかったとのこと  
だ。開会礼拝では、メソジ  
スト教会の伝統に倣って受  
餐者が恵みの座に進み出る  
仕方での聖餐に与った。

三役選挙結果  
【議長】柴田もゆる(廿日  
市)【副議長】西嶋佳弘  
(広島市)【書記】小畑  
太作(宇部緑橋)

常置委員選挙結果  
【教職】草地大作(周防、大  
川清(岩国)、金澤正善(小  
郡)

【信徒】栗原通一(福山東、  
土井桂子(廿日市)、島敏  
史(宇部緑橋)  
(新報編集部報)

盛岡市内の教会にも問いか  
けたが断られたこと、教団  
の被包括団体である個教会  
に譲渡する形が、税金が少  
なくすむこと、土沢教会が  
財政面で自立して行く契機  
となり、土沢での伝道を長  
期的な展望のもとに継続す  
ることができると等を説  
明した。75名中74名の賛成  
で可決された。

奥羽教区において10年毎  
に定められている長期宣教  
基本方針の5期目が201  
3年度で終わり、「第六期長  
期宣教基本方針」が定めら  
れた。東日本大震災を受け  
て、「希望に生きる教会」  
との主題と、ローマの信徒  
への手紙15章13節が掲げら  
れた。また、この宣教基本  
方針に基づき、「キリストの  
希望を宣べ伝える」という  
主題の「2013年度教区  
宣教基本方針」が承認され  
た。

この他、「奥羽教区におい  
て原子力発電所、核燃料サ  
イクル施設の即時廃止を求  
める取り組みを進める件」、  
「日本国憲法『改正』の動  
きを憂慮し、憲法の『改正』  
に反対する声明に関する  
件」が承認された。

教団問安使長崎哲夫総幹  
事挨拶に対しては、会期中  
2度にわたり、1時間以上  
の時間をかけて質疑がな  
され、総幹事は丁寧に応答  
した。

沖縄教区との関係回復に  
ついての質問が出された  
他、教区活動連帯金につい

ては「大都市圏に、奥羽教  
区が負担したお金が使われ  
ることになり、益々地方を  
疲弊させる」との危惧が述  
べられた。

この他、「共同牧会で兼牧  
という形を、積極的に評価  
してほしい」、「教会にお  
いて女性の意見が取り入れ  
られるようにしてほしい」、  
「地方教会の声に耳を傾け  
てほしい」等、様々な意見  
や要望が出された。

三役選挙においては、新  
たに書記として、松浦裕介  
教師が選出された。

三役選挙結果  
【議長】呂原宗男(江刺)、  
【副議長】白戸清野(辺地)、  
【書記】松浦裕介(下ノ橋)

常置委員選挙結果  
【教職】村上義治(館坂橋)、  
雲然俊美(秋田校)、飯田  
敏勝(大曲)、江戸清(奥  
中山)

【信徒】鈴木務(秋田高陽)、  
久保征紀(奥中山)、浅沼  
千春(秋田校)  
(嶋田恵信報)

## センター運営主体移行を決議



奥羽教区  
5月21日から  
22日、第68回奥  
羽教区総会が奥羽キリスト  
教センターで行われた。開  
会時の議員数は、正議員1  
10名中100名。

冒頭、呂原宗男議長は、  
8頁にわたる「教区総会議  
長報告」を朗読した。震災  
復興に関することとして  
千既教会の新築工事が教団  
救援対策本部の協力のもと  
完了したこと、宮古教会、  
新生釜石教会、大船渡教会

の復興は、緒についたほか  
りであり、今後も祈りの課  
題であることが報告され  
た。

今総会で最も活発に議論  
されたのは、奥羽キリスト  
教センターの運営責任主体  
を土沢教会に移すことに伴  
い、「日本基督教団 奥羽教  
区規則」を変更する議案で  
ある。

同センターは、教団のセ  
ンター明確化の流れの中、  
土沢教会の事業として位置  
づけることとなり、運営に  
関してはセンター運営委員  
会が関わり、活動全般は、  
教区常置委員会が責任的に  
関わることになる。教区内  
のセンターの位置づけを法  
的に整えることによって、  
移行が完了する。

この議案につき、「何故、  
土沢教会なのか。盛岡の教  
会に移すことや、センター  
内に教会を造ることも考え  
られないのか」との質問が  
あった。呂原運営委員長は、

盛岡市内の教会にも問いか  
けたが断られたこと、教団  
の被包括団体である個教会  
に譲渡する形が、税金が少  
なくすむこと、土沢教会が  
財政面で自立して行く契機  
となり、土沢での伝道を長  
期的な展望のもとに継続す  
ることができると等を説  
明した。75名中74名の賛成  
で可決された。

奥羽教区において10年毎  
に定められている長期宣教  
基本方針の5期目が201  
3年度で終わり、「第六期長  
期宣教基本方針」が定めら  
れた。東日本大震災を受け  
て、「希望に生きる教会」  
との主題と、ローマの信徒  
への手紙15章13節が掲げら  
れた。また、この宣教基本  
方針に基づき、「キリストの  
希望を宣べ伝える」という  
主題の「2013年度教区  
宣教基本方針」が承認され  
た。

この他、「奥羽教区におい  
て原子力発電所、核燃料サ  
イクル施設の即時廃止を求  
める取り組みを進める件」、  
「日本国憲法『改正』の動  
きを憂慮し、憲法の『改正』  
に反対する声明に関する  
件」が承認された。

教団問安使長崎哲夫総幹  
事挨拶に対しては、会期中  
2度にわたり、1時間以上  
の時間をかけて質疑がな  
され、総幹事は丁寧に応答  
した。

沖縄教区との関係回復に  
ついての質問が出された  
他、教区活動連帯金につい

ては「大都市圏に、奥羽教  
区が負担したお金が使われ  
ることになり、益々地方を  
疲弊させる」との危惧が述  
べられた。

この他、「共同牧会で兼牧  
という形を、積極的に評価  
してほしい」、「教会にお  
いて女性の意見が取り入れ  
られるようにしてほしい」、  
「地方教会の声に耳を傾け  
てほしい」等、様々な意見  
や要望が出された。

三役選挙においては、新  
たに書記として、松浦裕介  
教師が選出された。

三役選挙結果  
【議長】呂原宗男(江刺)、  
【副議長】白戸清野(辺地)、  
【書記】松浦裕介(下ノ橋)

常置委員選挙結果  
【教職】村上義治(館坂橋)、  
雲然俊美(秋田校)、飯田  
敏勝(大曲)、江戸清(奥  
中山)

【信徒】鈴木務(秋田高陽)、  
久保征紀(奥中山)、浅沼  
千春(秋田校)  
(嶋田恵信報)







▼韓国・スイス協約委員会、合同委員会▲

震災国際会議への参加要請を決議

第38総会期第1回韓国協約委員会とスイス協約委員会の合同委員会が5月2日、教団会議室で開かれた。メンバーは韓国協約が朴壽吉(聖ヶ丘・委員長)、石田周介(溝ノ口・書記)、そして張仁恵(名古屋)の各氏、他方でスイス協約は吉岡光人(吉祥寺・委員長)、廣石望(フェリス女学院大学・書記)そしてダヴィッド・ウィター(関西学院大学)の各氏である。

両委員会はいかねてより、三国間協議会(スイス、韓国、日本)を2011年7月に東京で開くために実行委員会を組織して周到な準備を重ね、プログラムもほぼ完成していた。しかし同年3月に発生した東日本大震災の影響で協議会は延期を余儀なくされ、その後は委員会も休止状態にあった。

報告がされ、協力が要請された。協議の結果、国際会議への協力と並んで、三国間協議会に参加を要請していた。

▼国際関係委員会▲

PCUSA青年大会参加者を選考

第38総会期、第1回国際関係委員会が、4月26日、教団B会議室にて開催された。中道基夫招集者による開会祈禱の後、今回初めて委員を務める者も多かった。招集者・職員による委員会についての説明がなされた。

自己紹介を経て委員会組織を行い、委員長に中道基夫、書記に望月麻生が選出された。委員は委員長・書記の他、大津健一、廣中佳実、吉田新の計5名。教団事務局からは高田輝樹、杉山真里菜の両職員が出席。加藤誠幹事は出張のため欠席。前総会期議事録確認と報告事項の後、協議がなされた。

2012年度会計報告が承認された後、今回の主要協議事項であるアメリカ合衆国長老教会(PCUSA)主催の高校生を対象とした3年に一度の青年キャンプ、Presbyterian Youth Triennial(7月16〜20日、於インディアナ州・パデュー大学)への参加者選考を行った。

▼宣教師人事委員会▲

宣教師の人事権について確認、協議

4月30日、第1回宣教師人事委員会が開かれた。

第38総会期最初の委員会であり、木下宣世教師を委員長に選任した。委員5名の内には宣教協力学校協議会運営委員である嶋田順好教師を含む。

最初にウェイン・ジャンセン宣教師に常時陪席を要請している。これは受入れ宣教師のうち、学校で働く宣教師が多い状況を踏まえたことである。

最初に担当の加藤誠幹事より、宣教師の人事権が教団内で唯一世界宣教委員会にあること、その下にある宣教師人事委員会の責任も重大であることが指摘された。

この後、事務局職員も交え、日本より海外へ派遣されている在外教師の消息も含め宣教師全般の状況と課題が報告された。委員会では宣教師が任地で順調に働きをまっとうすることが出来るように、ていねいな分ち合いがもたれている。報告のなかでは日本キリスト教連合会主催の講演「狙われる日本の教会―カルト最新情報―」が注意を引いた。過疎化と高齢化が進み、自力で後任を迎える

位置づけを求めることが決まった。この国際会議をひとつのきっかけとして、それぞれの協約委員会の役割や、他教会との今後の宣教協力のあり方について、新しいウイジョンが与えられることを期待している。

(廣石望報)

れたことは感謝である。参加申込書をもとに審議し、ハンナ・エデフォスさん(静岡英和女学院高等学校1年)と高野夢さん(山梨英和高等学校2年)の派遣を決定した。教団側からの引率者は決定できず、加藤幹事一任とした。

また参加の呼びかけに関する議論の中では、教団関係学校の生徒でありながらも教団以外の教会員である者を、教団の海外プログラムに派遣することは是非も問われた。この点で、教団の若い世代の育成を中心に考えたいという意見も交わされた。

加えて、海外に派遣された青年たちが帰国後に集まり情報交換をする場、また多くの人々に対して体験を発表できる場を設けることができないか、との課題が提起された。それぞれの体験を共有できる場は委員会での報告や紙面報告書などによって限られているのが現状である。帰国者のネットワークづくりをインターネットツール利用によって支援することとした。

大津健一委員の祈禱により閉会した。

(望月麻生報)



後列左から、吉田、廣中、杉山(職員)、前列左から、大津、中道委員長、望月書記

消息

稲垣守臣氏(隠退教師)



13年3月3日逝去、101歳。長野県に生まれる。39年同志社大学神学部を卒業。同年神戸教会に赴任、旭東教会、聖ヶ丘教会を経て、88年まで筑波学園教会を牧会し、隠退した。遺族は息・稲垣千午さん。

事務局報

教師異動

見附 辞(主)柳田剛行  
〃 就(主)柳田雅江  
聖学院大学辞(教)松谷好明  
牛久 辞(主)宮島牧人  
〃 就(主)金子敏明

お詫び・訂正

教団新報4774号2面「四国教区総会」記事で、「黒田道雄議長」を「黒田道郎議長」にお詫びして訂正いたします。

教師委員会

教師が教会に仕えるため

小宮山 剛

教師委員長という役は、正直言ってみます。それはまた、伝道者としての教師の人生に関わることを扱うこともあります。重大です。しかし、そう考えていくと、自分はこの任務にふさわしくないと考えてくるのですが、これも主の与えられた導きであるとして受け入れた主のお支えを仰ぎ、主と共に歩んでいくしかありません。

委員会コラム

教会は、教師によって立ち立ち、倒れもするという面があります。だから、教師が主の御心に従って教会に仕えることができるように支援するべきですが、委員会ができることは限られています。しかもそれは、当然のことです

また前期は、震災の被災地の教師の健康診断を支援対策本部に提案することができました。今期も、当委員会として何ができるかを祈り求めつつ、教会の主になていければと願っております。

(教師委員長)



